

## CSR重視の視点でEMMトータルエンジニアリングを育む

### 信頼される企業経営の促進

関西ティーイーケイ(株)は、設備・機器に関する各種技術・サービスを提供するエンジニアリング会社です。東レエンジニアリング(株)の関係会社として1973年に創設されて以降、多くのステークホルダーの皆様を支えられながら、逐次業容の拡大・変更を図りつつ43年間の歴史を歩んできました。

現在、当社はEMM(Engineering・Manufacturing・Maintenance)を旗印に、「エンジニアリング」「機器・ものづくり」「保全」の3つを柱として、東レの工場設備で培った技術・技能をベースに、設備・機器の設計・製作・施工から点検・維持・補修まで一貫して提供し得るトータルエンジニアリングの事業に精力的に取り組んでいます。

当社は、東レ/東レエンジニアリンググループの一員であることから、事業運営に際しては常に東レのロゴを背負っていることへの責任感と使命感を大切にし、東レが掲げる企業理念「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」を共通の理念として踏襲しながら、グループ企業としての発展を目指しています。

安全・衛生・防災・環境の取り組みを積極的に進めつつ、お客様には「喜ばれる製品」を、社員には「働き甲斐のある職場」を、株主には「期待に応える成果」を、お取引先には「強い信頼関係」を、社会には「CSRを通じた貢献」を享受していただけるよう、これからも皆様に信頼される企業経営を促進していきます。

### 経営理念を実現するCSR、支えるのは「人」

CSRは企業経営の根幹を成すものであり、経営理念を実現するための様々な課題を包含することから、当社では、前中期経営課題と同様、2017年度からスタートした4ヵ年中期経営課題の中でも、その第一に「CSRを基本とした企業経営」を最優先課題として掲げ、これまで以上にCSR重視の取り組みを推進することとしています。

その際、労働安全や企業倫理・法令遵守はもとより、人権、環境保全、社会貢献、製品安全・品質保証、安全保障貿易管理、購買・調達など、企業のCSRを支えるのは「人」であると明確に認識することが重要です。経営トップがCSRの重要性をいくら唱えても、その意思が社員に届かなければ、課題の克服も経営理念の実現もできません。

このため当社は、コミュニケーションを充実し、社員の倫理観を高め、責任感と正義感、向上心を養うことに重点を置いた人材育成策を推進することで、CSR意識を日常的行動の中にしつかり根付かせることに一層尽力していきたいと考えています。

### 持続的発展に向けて

弛みなく変化する社会の中で企業が持続的に発展していくためには、製品・サービスを通じて社会の発展や地球環境の保全に貢献していくことが必要です。当社は、技術者の育成やサプライチェーンの充実と併せ、ISO9001の認証取得など品質マネジメントには特に力を注ぎ、お客様生産活動の有益性・効率性の向上に寄与すべく努めています。

一方、東レグループでは、グリーンイノベーション(GR,地球環境への貢献)と、ライフイノベーション(LI,健康社会への貢献)を持続的発展の重要分野と位置づけ、革新的新素材・新技術の創出を進めていますが、当社はその中核となる炭素繊維や医薬プラントの建設、素材研究開発のテストプラント段階のサポートなどを通してこれらの分野に積極的に参画し、重点プロジェクトとしての促進を図っています。

本レポートは、持続的発展を目指す当社の様々なCSR活動をご理解いただくため、2016年度の成果を主体にとりまとめたもので、当社としては一昨年度の初刊から数えて第3刊目のレポートとなります。

今年度は新たにCSRロードマップを加え、目標・重要達成指標(KPI)・実績などを明示することで内容の一層の充実を図りました。ご一読いただき、忌憚のないご意見、ご要望を賜れば幸いです。

すべてのステークホルダーにとって高い存在意義を持つ企業集団となるため、当社は、全社員、全職場がCSRの推進に努め、社会に貢献していくことを誓います。

2017年5月

関西ティーイーケイ株式会社  
代表取締役社長

びとう たけし  
尾藤 武

